

平成28年度第1回 埼玉中部資源循環組合
ごみ処理施設等建設検討委員会 会議録

担当 埼玉中部資源循環組合施設課

会議の名称	平成28年度第1回埼玉中部資源循環組合 ごみ処理施設等建設検討委員会
開催日	平成28年11月16日(水)
開催時間	午前9時59分開会 ・ 午前11時47分閉会
開催場所	吉見町福祉会館2階会議室
議長氏名	岩崎 勤 (吉見町)
出席者氏名 (出席者数)	建設検討委員会出席名簿のとおり (13名)
欠席者氏名 (欠席者数)	大山義一 (東松山市)、島崎隆夫 (小川町) (2名)
オブザーバー氏名	(一財) 日本環境衛生センター 速水章一、池本久利
事務局職員氏名	根岸正己、戸口好久、中野欽章、朝香学、石川大輔、久保島賢、清水雅也
その他出席者	(株) エイト日本技術開発 比嘉、肥田野、相羽
議事の記録方法	要点筆記
会議の内容	(挨拶) 新井管理者 (協議事項) 平成28年度第1回埼玉中部資源循環組合ごみ処理施設等建設検討委員会次第のとおり
	(協議結果) (1)建設検討委員会委員長及び副委員長の選任について 委員長 岩崎勤 (吉見町議会議員) 副委員長 寺嶋均 (廃棄物処理施設技術管理協会名誉会長) (2)諮問書の受理について 新井管理者より岩崎委員長へ諮問書を手渡した。 (3)建設検討委員会の運営について 建設検討委員会規程、施設整備基本計画スケジュール(案)、施設整備基本計画(素案)から(案)への流れについて事務局より説明した。 規程第5条の規定に基づき、次の2名をオブザーバーとして委嘱した。 一般財団法人日本環境衛生センター 速水章一氏、池本久利氏 (4)施設整備基本計画(素案)について 施設整備基本計画(素案)及びバイオガス化施設整備事業実施可能性調査結果

について、事務局より説明した。

(5)その他

次回は平成28年12月8日(木)午後6時から

議事の要旨

司会(事務局)	1 開会 (午前9時59分)
新井管理者	2 委嘱状交付 出席者13名へ委嘱状を交付
新井管理者	3 あいさつ あいさつ 委員紹介 事務局紹介
事務局	4 協議事項 (1) 建設検討委員会委員長及び副委員長の選任について 委員長に岩崎勤委員、副委員長に寺嶋均委員を推薦。 【結果】 委員長 岩崎勤委員 副委員長 寺嶋均委員
新井管理者	(2) 諮問書の受理について 諮問書を読み上げ、岩崎委員長へ手渡す。 以降、岩崎委員長が議事を進行する。
事務局	(3) 建設検討委員会の運営について 資料に基づき説明。
委員A 事務局	地権者の同意状況について 25名の地権者に対し、事業内容を説明し、現地調査立入りのお 願いをしてきた。平成28年8月19日付けですべての地権者から 立入りの承諾を得ている。
委員B 事務局	施設整備基本計画に係る地元説明会は地元7地区で実施するの か。 建設予定地の地元ととらえている東第二地区(飯島新田、江和井、 久保田新田、蓮沼新田、高尾新田、ニュータウン江和井)と芝沼地 区の7地区で実施する予定である。

事務局	建設検討委員会の会議録について、議事は要点筆記とし、発言者は「委員A、B、C」というような表記でよいか。
岩崎議長	建設検討委員会会議録について、事務局案のとおりでいかがか。 (一同、賛成)
委員C	1月12日開催予定の会議だけでパブリックコメントの結果を審議するのか。
事務局	パブリックコメントの意見に対し、計画の中での取扱いや方向性を事務局案として提示した上で審議いただきたい。
岩崎議長	委員会規程第5条の規定に基づき、オブザーバーを委嘱したいがいかがか。オブザーバーとして次の2名を推薦する。 (一財) 日本環境衛生センター 速水章一氏、池本久利氏 上記の者にオブザーバーを委嘱することはいかがか。 (一同、賛成)
根岸事務局長	オブザーバーの委嘱状を交付
事務局	(4) 施設整備基本計画(素案)について 資料に基づき説明。
委員A	PFI方式でゴミ処理施設を整備する事例はあるのか。
事務局	近年、ゴミ処理施設建設においてDBO(公設民営)方式の採用が増えている。
委員A	施設整備基本計画に中継施設の検討は含まないのか。
事務局	組合の役割は中間処理であり、収集運搬は市町村の判断となる。施設整備基本計画に中継施設の検討は含まない。組合としては、収集運搬に関する市町村間の協議の場を必要に応じて設けたい。
委員C	浸水対策としては、工場棟のかさ上げのみを想定しているのか。
事務局	隣接している埼玉中部環境センターの状況も踏まえ、新施設が防災拠点として機能するよう検討を進める。
委員C	構成市町村で事業費負担を平等とするため、発電を優先し、余った分を周辺施設で熱源として利用するのが良いと考える。
事務局	余熱利用については、今後詳細に検討していく。

<p>委員D</p>	<p>バイオガス化について、①分別排出の協力が不可欠なこと、②含水率が高い残渣の処理や排水処理に費用がかかること、③バイオガス化分の施設が大きくなるため、建設費や維持管理費がかかること等の課題がある。発電量が増えるメリットもあるが、総合すると導入のメリットは低いと考える。</p>
<p>委員B</p>	<p>施設稼働時期が平成33年度から平成34年度に変更となっている。地元によく説明して進めてほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>測量・地質調査、環境影響評価に係る現地調査による土地立入りの承諾が遅れたことからスケジュールを見直した結果、平成34年度稼働となった。</p> <p>5 その他</p> <p>次回の日程は12月8日（木）午後6時とする。</p> <p>6 閉会</p> <p style="text-align: right;">(午前11時47分終了)</p>